

# 日本救急医療財団の活動報告

橋本 昌男 事務局長

2021年12月中旬から2022年2月上旬までの財団の活動について報告します。

## 研修研究部門に関する報告

風間 和則 研修研究部

### 1. 非医療従事者による AED 使用のあり方特別委員会について

令和3年12月24日（金）に、東京ガーデンパレスにおいて、非医療従事者による AED 使用のあり方特別委員会（委員長：坂本哲也先生）が開催され、今年度に行われた「AED の教育普及に関する作業部会（委員長：田中秀治先生）」及び「AED の内部データ利用・検証に関する作業部会（委員長：田邊晴山先生）」から各報告書（案）について説明して頂き、その後、活発な意見交換を行いました。

開催にあたりましては、新型コロナウイルス感染症の影響により半数以上の委員が WEB での参加となりましたが、会議運営については円滑に終了することが出来ました。

### 2. 令和3年度救急医療業務実地修練等研修事業について

#### ○ 看護師救急医療業務実地修練

看護師救急医療業務実地修練につきましては、令和4年1月17日（月）から1月21日（金）まで合同研修（5日間）、及び令和4年2月8日（火）から2月10日（木）まで施設研修（3日間）をオンライン（Zoom）にて開催しました。

受講者は、救命救急センター又はそれと同等の施設において、2年以上救急部門、集中治療（ICU）などで実務経験がある者等を対象に全国から77名の受講者が参加されました。

合同研修プログラムでは、①救急医療の現状（講義）、②小児医療（講義）、③災害医療概論（講義）、④災害医療の現状・災害トリアージ・DMAT（WS）、⑤災害看護学概論（講義）、⑥熱傷（講義）、⑦ACS（講義）、⑧臓器不全・血液浄化法（講義）、⑨グリーンケアとDMORT（講義）、⑩脳卒中（ISLS、PSLS）（講義）、⑪自施設の救急医療の課題検討 私の施設の救急で困っていること（WS）、⑫ドクターヘリにおけるフライトナース（講義）、⑬急性中毒（講義）、⑭呼吸不全（講義）、⑮精神病状を持つ患者へのアプローチ（講義）、⑯高齢者医療（講義）、⑰脳死と臓器移植（講義）、⑱循環不全（講義）、⑲救急における安全管理（感染管理も含む）（講義）、⑳意識障害（ACEC、PCEC）（講義・WS）、㉑JNTECの実技（WS）、㉒ERの現状（講義）、㉓院内急変対応（講義）、㉔救急患者への対応と緊急度判定（講義）、㉕救急（院内）トリアージの実践（WS）を実施し、研修プログラムを通して救急医療の最新情報等を学ぶとともに、WSではZoomのブレイクアウト機能を使用し、8班又は16班に分かれたディスカッションでは受講者相互の活発な

情報交換により、連帯感が深められ大変有意義な研修となりました。

また、施設研修については、例年、受講者が施設研修病院（(高度)救命救急センター）にて5日間程度の研修を受講していたところですが、新型コロナウイルス感染症の影響により、今年度は受講者と施設研修病院間をオンライン（Zoom）で結んで開催しました。

実施にあたっては、受講者を3班に分け各班6病院（AM、PM各1病院×3日間）を受講するプログラムにより、施設研修病院（17病院）のご協力のもと各病院の特色を活かしたレクチャー及びディスカッションを実施して頂きました。

なお、事前に「Zoom操作マニュアル（受講者用）」等を受講者に配布するなど研修準備を進めるとともに、オンラインへの接続等について受講者からの問合せに速やかに対応できる体制を整えたことにより、円滑に研修を終了しました。

### ○ 救急救命士業務実地修練

令和4年1月31日（月）から2月4日（金）までの5日間、オンライン（Zoom）にて救急救命士業務実地修練を開催しました。

受講者は、（1）救命救急センター又はそれと同等の施設において、救急部門、集中治療室（ICU等）などで現に救急業務に従事している者であって、救急救命士免許を取得している、（2）消防機関等において、現に救急救命士として救急業務に従事している者を対象に、全国から68名（修了者67名）が参加されました。

研修プログラムでは、①MCにかかる諸業務の管理・運営（WS）、②心肺停止前の特定行為について（講義・WS）、③救急救命士制度の将来像（講義・WS）、④緊急度判定の理論と実践（WS）、⑤精神科的問題を持つ傷病者へのアプローチ（WS）、⑥呼吸不全、重症喘息（講義）、⑦循環不全、急性冠症候群（講義）、⑧小児救急疾患（講義）、⑨外傷、熱傷、電撃傷（講義）、⑩急性中毒、溺水、熱中症、低体温（講義）、⑪周産期、母子救急疾患（講義）、⑫意識障害、脳卒中（講義）、⑬症状・徴候 観察のコツ（講義、WS）、⑭安全な救急業務管理（危機管理）（WS）を実施し、また、病院前医療体制における指導医等研修（上級者）受講者と合同で開催した⑮我が国の救急医療体制と病院前医療体制※現状と課題を含む（講義）、⑯通信指令業務について（講義）、⑰通信指令業務の事後検証について（WS）、⑱局地災害における消防活動（講義）、⑲局地災害時のMCに関する問題の理解（WS）を実施し、WSにおいては、Zoomのブレイクアウト機能を使用し、10班に分かれたディスカッションでは、活発な意見交換と受講者自身による体験を通して受講者相互間での連帯感が深められ、特に病院前医療体制における指導医等研修（上級者）受講者と合同で行われた講義・WSでは救急救命士と医師による活発な意見交換がなされ、大変有意義な研修会となりました。

なお、事前に「Zoom操作マニュアル（受講者用）」等を受講者に配布するなど研修準備を進めるとともに、オンラインへの接続等について受講者からの問合せに速やかに対応できる体制を整えたことにより、円滑に研修を終了しました。

### ○ 病院前医療体制における指導医等研修（上級者）

令和4年2月2日（水）から2月4日（金）までの3日間、オンライン（Zoom）にて病院前医

療体制における指導医等研修（上級者）を開催しました。

受講者は、5年以上の救急臨床歴があり、(1) 救急科専門医やそれと同等の資格を有する医師、(2) 2年以上の地域メディカルコントロール担当医として経験を積んだ医師、(3) 地域においてBLS、ACLS、JPTEC、JATECなどの講習会や救急隊教育において指導歴がある医師を対象に、全国から61名が参加されました。

研修プログラムでは、①救急に関する消防の取り組み（講義）、②「搬送と受け入れ実施基準と緊急度判定（WS）、③救急医療体制にかかる調整（WS）、④救急医療体制にかかる調整（高齢者への対応）（WS）、⑤MC及び指導医の今後の展開（WS）、⑥生涯教育システムの構築（講義）、⑦救急救命士等に対する教育（講義、WS）を実施し、また、救急救命士業務実地修練受講者と合同で開催した⑧我が国の救急医療体制と病院前医療体制※現状と課題を含む（講義）、⑨通信指令業務について（講義）、⑩通信指令業務の事後検証について（WS）、⑪局地災害における消防活動（講義）、⑫局地災害時のMCに関する問題の理解（WS）を実施し、WSにおいては、Zoomのブレイクアウト機能を使用し、10班に分かれたディスカッションでは、活発な意見交換と受講者自身による体験を通して受講者相互間での連帯感が深められ、特に救急救命士業務実地修練受講者と合同で行われた講義・WSでは医師と救急救命士による活発な意見交換がなされ、大変有意義な研修会となりました。

なお、事前に「Zoom操作マニュアル（受講者用）」等を受講者に配布するなど研修準備を進めるとともに、オンラインへの接続等について受講者からの問合せに速やかに対応できる体制を整えたことにより、円滑に研修を終了しました。